

指定校番号	28037	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立中野東小学校	校長	坊田 裕紀子	生徒指導主事	長妻 貴志
-----	------------	----	--------	--------	-------

**取組事例名 『いじめ防止の取組』**

**取組のねらい『キーワード 主体的』**

「いじめ防止取組強化月間」を設定し児童会による主体的な取組を行うことによっていじめを防止することの重要性を考えさせ、安心して生活できる学校をつくらうとする態度を育成する。

**取組の具体的内容『キーワード 振り返り』**

- 各学級でキラキラ言葉やイガイガ言葉の指導を行い、どのようなキラキラ言葉を使ったらよいか考え、学級活動で児童から出た言葉を、廊下に模造紙1枚で掲示する。
- 代表委員会で児童会役員による「いじめ防止取組月間」の取組を説明し、呼びかける。
- 定期的に振り返りカードで個人評価を行う。
  - ・ いじめ防止月間（9月）
  - ・ 中野東パーク（11月）
  - ・ 児童アンケート（2月）

**取組の課題・創意工夫『キーワード 各学級の工夫』**



〈創意工夫〉 声をかけられると嬉しくなる言葉（キラキラ言葉）を各学級で出し合い、掲示物を工夫

して作成し、各学級の廊下に掲示した。さらに、学校通信や学年通信にも掲載し、地域や保護者へ、取組内容の周知徹底を図った。

〈課題〉 キラキラ言葉を意識して使う児童は、全校行事では増えてきているが、普段の学校生活の中で考えると、友達を傷つける言葉を使う場面がある。日々の生活でも意識して使うような取組を考える必要がある。

#### **取組の成果（効果）『キーワード 啓発活動』**

9月を「いじめ防止取組強化月間」と位置付けており、各学級から出たキラキラ言葉を廊下に掲示する取組を計画した。児童会による、いじめ防止の啓発活動も並行して行っており、キラキラ言葉の波及に努めた。9月のアンケートでは、「1週間で4日以上キラキラ言葉を意識して使った」児童が77%、11月のアンケートでは、「中野東パークを通してキラキラ言葉を意識して使った」児童が89%であった。キラキラ言葉を意識して使う児童が増えている傾向にあると考えることができる。

#### **今後の展開『キーワード 継続』**

今後もキラキラ言葉を意識して使うよう、児童会を中心に啓発活動を継続していく。2月の「児童アンケート」の取組後には、最後のアンケートを実施し、活動の検証、改善をしていきたい。

#### **他校へのアドバイス『キーワード 児童の実態』**

自校児童の実態を把握し、その実態に合わせての取組を考えていくことが大切だと思います。